

■松山市総合計画基本構想（素案）に関するご意見

資料1

□まちづくりの基本目標以外に関するご意見

ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
今さらですが、読めば読むほど「方向性」という言葉と、書かれている内容が一致しないように感じる。現在、「方向性」として書かれているものは、「取組項目」「取組内容」の方が近く「方向性」（どこに向かうのか、目指すのか）というイメージが持ちにくいです。	大内委員	追加

■松山市総合計画基本構想（素案）に関するご意見

□まちづくりの基本目標（安全・安心、環境・都市）に関するご意見

(1)「生活に安らぎのあるまち(安全・安心)」(P.11)に関するもの

キーワード	ご意見要旨	発言/記述委員	基本計画体系該当箇所	意見区分
災害弱者の把握	「災害発生時に支援を必要とする人々」(障がい児・者、要援護高齢者等)に対する対策はどこに入るのか。 各自治体で、対象者の把握と支援体制づくりが進んでいるが、大規模な松山市ではコミュニティの力にも地区により差があり、時間もかかると思われるため、ぜひ強化してほしい。	宮内委員	21災害等に強いまちをつくる	追加
防災のソフト面の記述	ハード的なことは予算の限りがあるが、ソフト面では自助共助の部分でもっとできることがある。ソフトの部分の記述を充実していただきたい。	井戸委員	21災害等に強いまちをつくる	審議会
子どもの「参加」	「子どもを守る」ではなく、もっと子どもに積極的な役割を果たさせるべき。子どもたちを「守る」だけでなく、子どもたちが「参加する」ということも大事だと思う。	鮎川委員	21災害等に強いまちをつくる	審議会
情報伝達手段の強化	注意喚起が確実に伝わるような情報伝達の対策に力を入れてほしい。	久保委員	21災害等に強いまちをつくる	審議会
災害時の衛生対策	災害が起きたときの2次災害としての感染症の対策が書かれていないため、安心して暮らせる環境をつくるではなく、2次災害の対策のところに衛生面の対策を詳しく盛り込んでいただきたい。	小林委員	21災害等に強いまちをつくる	審議会
「災害対策」より「防災対策」	災害が起こったとしても、事前に予測して備えておけば、危機は少なくなるという意味で、「災害対策」よりも「防災対策」とするほうが、事前の備え、予防という認識が強いように思うが、いかがか。	宮内委員	211災害対策等の推進	追加
伊方原発への対応策	伊方原発にもしも事故があれば松山市にも少なからず影響があると思う。各方面から対応策を講じて置くべきではないか。	竹村委員	2111危機管理体制の強化	追加
	「災害全体」で原発の取り組みがないような気がする。愛媛県は伊方原発を持っており、少し遠い場所であるが、正しい知識をつけることは重要。	溝垣委員	2111危機管理体制の強化	追加

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
津波からの避難対策	津波が起きた時、市民が今いる場所は安全かどうか分かる様避難するための認識として街角(道路標識・電柱など)に海拔を示した表示が出来ないか。	竹村委員	2111危機管理体制の強化	追加
	大きな津波が来る恐れがある際は、まず自分の身を守る為逃げる必要がある。標高表示の充実を行い、各町ブロックで、避難場所へ避難する訓練を繰り返す事が必要。 また、松山にも津波が来る恐れが十分あることを、広報や報道等で周知し市民の危機管理の充実を図る必要がある。	高市委員	2111危機管理体制の強化	追加
自助の取り組み	「本市の最大避難者数10万人に対する食糧10万食」と書かれているが、保存食は賞味期限があり買い替えが必要となり、予算がかかる。市民一人一人が考え方を改め「自分の分は自分で用意する」など、自助の取り組みが進むよう行政にも取り組んでいただきたい。	井戸委員	2111危機管理体制の強化	審議会
学校での防災教育について	学校教育の中でも、「すぐに逃げる」ということをもっと教えていただきたい。まずは「逃げる」ことが一番大事。市民の方に防衛能力を高めていただくことを大事にしていきたい。	井戸委員	2111危機管理体制の強化	審議会
市民の防災についての意識改革	松山市の場合、巨大地震が発生しても津波が到達するまで2時間半はあると言われているが、非常の際の2時間半はアッという間。普段から緊急事態にどう行動するのかソフトの取り組みを大事にさせていただきよう書きこんでいただき、共助の部分を大切にしていきたい。	井戸委員	2111危機管理体制の強化	審議会
消防団と地域との連携	消防団に関しても、ソフトの部分で色々な組織と連携し、市民の防災意識を高めていくことが大切になると思う。	井戸委員	2111危機管理体制の強化	審議会
避難場所の整備	避難場所の整備:「福祉避難所」の確保(協定)について明記してほしい。東日本大震災でも協定は結んでも実施の伴わない状況が多く、病状悪化や死亡例もみられた。体制整備も含めて必要。	宮内委員	2111危機管理体制の強化	追加
「備蓄物資」の配備の強化について	「備蓄物資」について、ライフラインの寸断を予測し、冬期では、暖房用燃料、自家発電、ガソリンなどの準備が必要である。東北では、オール電化の施設で停電による凍死、低体温等がみられている。介護サービス施設等の非常災害対策の義務付けも拡充されようとしており(県条例)、ぜひ参照してほしい。	宮内委員	2111危機管理体制の強化	追加
	災害備蓄の医薬品備蓄も整えてはどうか。	小林委員	2111危機管理体制の強化	追加

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
方向性と背景・根拠の関係について	方向性に「震災対策拠点の整備」「危機管理体制の整備」とあるが、抽象的で、「背景・根拠」との関係が見えない。	三浦委員	2111危機管理体制の強化	追加
防災上危険な建物の取り扱い	各施設の耐震化は進めなくてはならないが、例えば廃校になって使い道の無い古い校舎等の取り壊しも進めて行くべきではないか。住宅に隣接している所などは危険だと思う。	竹村委員	2112市有施設の耐震化	追加
道路・橋梁の耐震化	方向性に「重要度・緊急度を勘案した優先対策路線の順位設定」とあるが、「金がかかるのでやりたくはない」というニュアンスに見えてしまう。	三浦委員	2112市有施設の耐震化	追加
学校の耐震化を急ぐべき	小中学校の耐震化について、「平成33年度までの11年間ですべての学校施設を耐震化」とあるが、市民感覚として11年は長い。3ページ4「ポンプ蔵置所」は10年間で建て替えになっている。	三浦委員	2112市有施設の耐震化	追加
	学校の耐震化が進んでいないようだ。 児童生徒や教員の安全が十分確保されるよう、優先的に耐震化に取り組む必要がある。	高市委員	2112市有施設の耐震化	追加
がけ崩れ危険箇所の調査をすべき	大雨等によって、突然がけ崩れが起こることがある。 がけ崩れの防止対策が施されているが、再度市内全般で危険な箇所がないか調査する必要がある。	高市委員	2113浸水対策・がけ崩れ対策の推進	追加
国・県への「要望」という記載は総合計画になじむか	「国及び県に対し、一級河川及び二級河川の早期改修を要望」とあるが、「要望」が「総合計画」になじむか。	三浦委員	2113浸水対策・がけ崩れ対策の推進	追加
小規模ポンプの整備	「小規模ポンプを優先的に整備」とあるが、何に優先させるのか不明。	三浦委員	2113浸水対策・がけ崩れ対策の推進	追加
情報弱者に配慮した情報伝達	より多くの市民に確実に伝達する仕組みが必要という点は、特に情報弱者に配慮したものになることが願われる。また、この機会に災害要援護者支援制度を周知すると良いのではないかと。なお、情報弱者の観点からP7の(1)情報収集・伝達手段の高度化とも関連すると思われる。	畔地委員	2121災害発生時の対応の迅速化 2211消防・救急救助体制の充実	追加
対策本部運営の充実・強化	方向性に「平常時から関係機関との連携を強化することにより、災害時においても迅速な対応を実現」とあるが、この項目全体として、何を具体的にやるのかよくわからない。	三浦委員	2121災害発生時の対応の迅速化	追加
災害時の近隣市町との連携強化	「災害発生時の体制づくり」に「国・県との連携強化」とあるが、縦の大きな関係との連携強化と同時に、横並びの他の市町村レベルとの連携強化を広域的な範囲ですることとも併せて考えていいのではないかと。	甲斐委員	2122災害発生時の体制づくり	審議会

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
「災害ボランティアセンターとの連携」を明記	「国、県その他関係機関との連携強化」について、災害時の情報拠点として重要な役割を担う「災害ボランティアセンターとの連携」を明記してはどうか。意識的に具体名を記すことで周知に役立つと思われる。	畔地委員	2122災害発生時の体制づくり	追加
市民の防災についての意識改革	「地域防災力の向上」を実現するためには、市民1人1人の意識改革が必須であり、特に大きな災害に見舞われていない松山市民にとっては、重要なポイントだと感じる。現状では、いくつかの「取組の柱」に分散されていて、市民各自がどうあるべきかが伝わってこない。	大内委員	213地域防災力の向上	追加
防災に関連する組織間の連携	自主防災組織100%は誇るべきことだが、学校・公民館・町内会などと横の連携がない。項目にソフト面として、「避難対策の連携と強化」ということで謳う必要がある。	竹田委員	2131自主防災の充実・強化	審議会
自主防災組織の機能強化	「自主防災の充実・強化」について、個人情報保護の観点から、市が保有する災害弱者の名簿を、自主防災組織に提供できるかどうか、ということについて、本人や家族が色々な事情でそれを出してほしくないといっている方がいる。自主防災組織は防災のことだけでなく、福祉や人権の観点、個人情報保護の知識なども含めて地域力を日頃からつけておく必要がある。	甲斐委員	2131自主防災の充実・強化	審議会
企業の防災力強化	関東では、帰宅難民者や地域住民の避難場所になる可能性を考え、食料の備蓄など、企業への新しいルールができた。松山市でもその点をお願いしたい。	甲斐委員	2131自主防災の充実・強化	審議会
	「企業防災力の充実強化」で会社も今の景気状況では防災まで手が回っていない状況。大企業なら会社の予算で防災グッズが配備されるが、地元の中小企業だと予算上そのような取り組みができる企業はまれである。予算も限りがあるが、取組企業に関し、なんらかの補助をしてみてもどうか。	溝垣委員	2131自主防災の充実・強化	追加
	企業のBCPの作成が、結果、企業防災力の強化に繋がる。松山市は90%が中小企業だが、BCP作りを推進している。BCPと防災力のアップはイコールだという感覚でここに一項目挙げていただけるとありがたい。	門田委員	2131自主防災の充実・強化	審議会
防災教育を取組の柱に	方向性にある「防災教育の実施」は、「取組みの柱」に「防災教育の推進」として立ててもよい内容ではないか。	三浦委員	2132防火・防災意識の普及啓発	追加

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
具体的な団体名の記載について	取組の柱の中に「女性防火クラブの充実強化」が挙げられているが、様々な団体がある中であえてこの団体を挙げているのは意図があつてと思うし、周知の意味でも良いが、大学には“大学防災サポーター”がある。このような各種団体名が挙げてもよいのかとも思う。	畔地委員	2212地域消防力の強化	追加
犯罪を犯した人への立ち直り支援	犯罪を犯してしまった人に対しては立ち直り支援するなど、社会の中で受け入れられるような書きぶりがあればと思う。	甲斐委員	2221犯罪のないまちづくりの推進	審議会
防犯カメラの設置について	防犯対策の推進について、ある程度人口の多い町は、防犯カメラの設置も必要かと思う。	高市委員	2221犯罪のないまちづくりの推進	追加
子どもの交通安全・交通マナー(特に自転車)	子どもを成人と同じ扱いをして、自分の身は自分で守る、ということを教育していくことが非常に大事。特に自転車に対する交通安全対策についても考えていかなければならない。	吉井委員	2222交通安全対策の推進	審議会
	自転車のマナー(特に子供)が悪い為、危険な思いをする事がある。自転車の事故を少しでも減らす為、免許証の交付が必要ではないか。また、年代別に自転車の乗り方を教育する場所があればと思う。	高市委員	2222交通安全対策の推進	追加
消費者相談窓口について	消費者相談の窓口について、更なるアピール、啓発に力を入れていただき、基金が終わってからも相談員のスキルアップを継続していただきたい。	重川委員	2223消費者行政の推進	審議会
消費者相談の充実について	相談体制の充実について、担当者のスキルアップだけでカバーすることができるのか。記述内容に不足を感じる。	大内委員	2223消費者行政の推進	追加
安定した食の供給	安定した水の供給に対して、安定した食の供給についての扱いが小さいため、水並みの扱いにしていただきたい。	吉井委員	2231食の安全推進	審議会
食の安全、トレーサビリティについて	食の安全で、トレーサビリティの徹底についてももう少し触れた方が安心できるのではないか。	小林委員	2231食の安全推進	追加
食生活改善推進員について 追記を	食の安全の推進について、食生活の質を向上させるという観点から、“食生活改善推進員”の活動に関わる内容が含まれていると良い。	畔地委員	2231食の安全推進	追加
ロシア人墓地の位置づけ	「市営墓地及びロシア人墓地の適正な維持管理」とあるが、ロシア人墓地は「衛生」というよりも、「歴史・文化」的な観点で清掃活動などもされていると思うため、書きぶりを検討していただければと思う。	甲斐委員	2232生活衛生の向上	審議会

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
動物の適正飼育について	「動物の適正飼育の推進」について、動物を処分するのではなく、何とか引き取り手を探すという取り組みがいくつかの地域でなされている。そういう先進事例を参考にするという記載があると、行政の頑張りも伝わるのではないかと。	甲斐委員	2232生活衛生の向上	審議会
	動物愛護、人間と動物の幸せな共存についての意識については今以上に学校教育の中でも取り扱われるべき内容だと感じる。それは「愛媛県の密接な連携」の中に含まれるのか。	大内委員	2232生活衛生の向上	追加
生活衛生における「ユスリカ」対策	「生活衛生」でユスリカの対策は川の整備も含まれるのではないかと。ユスリカは水辺に発生するが、川でかやなど生い繁っているところは特に発生しやすいのでその辺りの対策を検討してはどうか。	溝垣委員	2232生活衛生の向上	追加
空港における感染症対策	松山には空港があり、また国際空港である。万が一の事態を考え緊急網などマニュアル整備も必要ではないか。	溝垣委員	2233感染症対策の推進	追加
松山市としての水の確保について	松山市の水不足について。現在は、西条市の黒瀬ダムから松山分水に取り組んでいる、とあるが、10年先のことを考えるのであれば、松山市は自助努力で水を確保することも必要。一度、市民に水の確保について問う必要がある。	高市委員	2241水資源の開発	審議会 追加
	石手川ダムの活用を広げる、形を変える方法や対策の提案などは松山市としてのアイデアはないのか。	久保委員	2241水資源の開発	審議会

(2)「緑の映える快適なまち(環境・都市)」(P.12)に関するもの

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
公共交通へのシフト	移動コストを安くする、ということを是非考えてもらいたい。公共交通を無料にする位の政策をとってもらいと、都心に出やすくなるため、まちに賑わいができる。また、車から公共交通にシフトすると、CO2の排出量も減るし、良いこと尽くめ。行政で予算を支出しなければいけないが、松山市全体としてみるとそれ以上のメリットがある。	吉井委員	5緑の映える快適なまち(全体)	審議会
道路設備の手入れ	交差点のカーブミラーが老朽化により役割を果たしていない所が見受けられる。交通事故は、交差点でよく起こることがあり、カーブミラーの定期的な更新が必要。また、道路の中央分離帯に生えている草で視界を塞がれる事があり、計画的な手入れが必要。	高市委員	5111生活道路の整備・維持管理	追加
長寿命の住宅	福田政権時代に提唱された「200年住宅」という長持ちし環境にもよい、住宅をつくるという施策を盛り込む必要はないか。	甲斐委員	5112住宅の供給促進	審議会
空家対策	全国では、空家の増加が問題視されているが、松山市においてその対策に向けた観点が必要ではないか。	甲斐委員	5112住宅の供給促進	審議会
上下水道事業の経営状況について	上下水道事業について受益者負担の原則ではあるが、現在増加しつつある累積赤字についてどのような対処がなされているか。	久保委員	512上水道の整備 513下水道の整備	追加
上下水道全体の将来像について	上下水道整備について、ここの書き方では、市が上下水道をどこまで整備しようとしているかが見えてこない。将来的な市のあるべき上下水道の姿はこうで、それに近づけよう、というような書き方が必要ではないか。	門田委員	512上水道の整備 513下水道の整備	審議会
公園緑地整備に子どもの育成の視点を	小項目の「公園緑地の整備」において、「子どもの育成」という視点がほしい。	三浦委員	5212公園緑地の整備	追加
ラフォーレ跡地の開発	ラフォーレ原宿松山が閉館になり、郊外に人が流れ、松山の中心部が大変寂しくなった。また、若者が遊ぶ場所がなく、ますます人が、市外に流れており、早期に対策を打つ必要がある。跡地の利用は、多々諸事情があるとは思いますが、市の協力により早期に再開発する必要がある。	高市委員	5221市街地形成の推進	追加
地名改正の際の配慮について	住居表示の地名について。かつての地名を消すため地名改正がされた歴史もあるため、それをスムーズにやってしまうだけの文言ではなく、地名改正の時は気をつけるような一文が入ってもよいのではないか。	久保委員	5222土地利用の誘導	審議会
松山の「玄関口」の整備について	JR松山駅周辺は、県都の玄関としてあまりに、寂しく賑わいがない。JRと県、市が一体となって駅周辺の再開発をする必要がある。また、再開発には鉄道利用者でない方も立ち寄れる施設が必要。	高市委員	5223都市計画事業の推進	追加
	JR松山駅前の開発について。やはり、観光都市「松山」をPRするのは駅や空港である。四国でも他の市の駅はとても豪華。建物はもとよりもう少し「松山、道後」色を出してみてもどうか、足湯コーナーを設ける、観光案内所を設置する等。市内及び道後へのアクセスを分かりやすくするも必要あり。	溝垣委員	5223都市計画事業の推進	追加 8

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
「節水型都市づくり」の位置づけについて	「節水型都市づくりの推進」については、上下水道の施策と並べるほうがわかりやすいのではないかと。	三浦委員	533節水型都市づくりの推進	追加
まつやまRe・再来館の活用について	市がもっと力を入れて、「まつやまRe・再来館」に小中学生をもっと連れてくるなどの方向付けをしていただけるとありがたい。中身のあり方を市民の方など外部の意見を入れて話し合えるシステムがあればいいと思う。	吉田委員	5311ごみの減量・再使用・再生利用の推進	審議会
学校での食育指導について	学校給食から出される食品廃棄物のリサイクルのことで記述されており、事実を書いておられるが、今後の課題として、食品廃棄物を出さない食育指導のようなことを書いていただきたい。	竹田委員	5311ごみの減量・再使用・再生利用の推進	審議会
リサイクルの際のインセンティブについて	大人にしても、子どもにしても、自分たちで何かすれば、リサイクル商品でも地域のために使える品物やお金になる、そういう形にできないものか。	久保委員	5311ごみの減量・再使用・再生利用の推進	審議会
廃棄物処理の際のインセンティブについて	廃棄物の処分に費用を払うのではなく、200円300円程度でもインセンティブがあれば、きちんと処理場にもってくるのではないかと。処理やパトロールにかかる費用とのバランスを考えれば、そちらの方が良い可能性もあるのではないかと。	久保委員	5312ごみの適正処理の推進	審議会
不法投棄の防止について	「不法投棄」でマナーの悪い人がいる。川にゴミを投げ捨てる人もいた。川に草が繁り捨てやすい感じなのではないかと。整備してキレイにしていれば捨てにくくなるのではないかと。	溝垣委員	5312ごみの適正処理の推進	追加
「スマートコミュニティ」関連のカタカナ語について	「スマートコミュニティの構築」の部分は、「取組の柱」「方向性」「背景・根拠」に書かれていることはわかるようでもわからないカタカナ用語の入った文章になっているため、素人でも理解できるように修正してはどうか。	大内委員	5342低炭素社会の構築	追加
太陽光発電システムの導入目標の明記	太陽光発電システム等の導入促進に積極的に取り組んでいる。となっているが、5年後10年後どの位の普及を目指しているのか示した上で進めてはどうか。	竹村委員	5342低炭素社会の構築	追加
えひめaiの活用	美しいまち松山の実現をする一つとして、えひめai(環境にやさしい、排水溝等の洗浄剤)の推進は出来ないかと。市から原材料支給で5年余り使用してきたが、良かったと思う。地域の団体や事業者など多くの人が使用する事によって家庭廃水・河川等の浄化が出来ると思う。	竹村委員	5343環境汚染の抑制	追加

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
まちの美化活動の推進	私は、石井地区にてマイロードサポーターとして、歩道のごみ拾いをしているが、この活動をさらに進めていただきたい。まちがきれいになることにより、松山市の魅力も上がる。	高市委員	5344環境意識の醸成	追加
環境学習と実践を結びつける	子どもたちが関われるものとしては、地域と連携した自然環境の保全活動や水源の涵養など色々な事業があるため、環境学習を推進するだけでなく、関連事業と連携してこれを実践させる、実践と結びつけていくという方向性を出していただけるとありがたい。	鮎川委員	5344環境意識の醸成	審議会